

## インド・サールナートの<sup>のうす</sup>野生司香雪画伯の壁画について

宮原 豊 (9 組)

仏教生誕の地インドでは、日本に仏教が伝えられた頃には仏教は衰退していました。そのインドのガンジス川沿いの古都ヴァラナシ近くのサールナート（鹿野苑）の仏寺本堂に日本人画家が描いた「釈尊一代記」の壁画があります。

明治時代にインドで仏教再興運動が始められましたが、昭和初期にこの地に建立されたばかりの寺院に壁画を描いてほしいと日本側に要請が寄せられ、派遣された日本画家の野生司香雪は足掛け 5 年の歳月をかけて 1936 年（昭和 11 年）に、高さ 4 丈、長さ 44 丈の壁画を完成させました。この壁画はお釈迦様の生涯を分かり易く紹介していることで世界中から訪れる仏教徒や観光客に広く知られていますが、完成後 80 数年を経た現在何カ所か剥落が生ずるなど保全修復をすることが急務となっています。

仏教を通して何世紀にもわたりインドから受けてきた恩に報いようと精進・献身した日本画家・香雪の意志を受け継ぎ、インドに存在する日本人の描いた貴重な文化財を後世に残そうと、まずは香雪の生まれ故郷である香川県の人々が「野生司香雪画伯顕彰会」を立上げて、具体的に行動を起こしました。

そんなある日に筆者が勤務していた日印協会に、香雪研究家の溝渕茂樹先生（香川県出身で香川県文化会館前学芸員・徳島文理大学講師）が戦前の日印協会会報に香雪の投稿している記事があるはずなので探してほしいと訪ねて来られました。香雪を人選しインドに派遣したのは日印協会、香雪自身が制作途中の経過や完成した後にも多くの記事を投稿しており、当時の様子が生き生きと蘇ってくるのでした。その時に溝渕先生にお会いしたのを縁に（後述しますが、これぞ「佛縁」とでも言うのでしょうか）、香雪画伯顕彰会会員の末席に名を連ね、事務局長である溝渕先生の東京での連絡員的な仕事をする事になりました。

顕彰会は補修に対するインド大菩提会（仏教会）の要請を受けて、東京藝大の先生や寺院の絵画修復などを手掛ける京都の専門家の協力を得て、サールナートの本堂の三面に描かれている壁画を足掛け 3 年かけるといふ補修計画を練りました。必要資金は 5 千万円が見込まれます。

インドにある日本の文化財の保全なのだから日本政府（例えば国際交流基金）の支援が得られないか、印日間の文化交流の観点から在日インド大使館を通してインド政府に何らかの財政支援をしてもらえないか、等々の可能性を検討してきました。しかし、そもそもインド大菩提会という私的な団体の所有物の修復に公的資金を使うことは馴染まないとのことから、全て民間資金で賄うことにしました。それで故・平山郁夫先生ゆかりの公益財文化財保護・芸術研究助成財団が募金のとりまとめを担っていただくこととなりました。

あくまでも「文化財」の保全修復を第一義的な目的とするので、宗教色は出来るだけ出さずに、香雪と所縁のある人々や寺院を中心に協力をお願いしていこうということになりました。

この補修プロジェクトを 11 月末からスタートするのを機に美術・文化・歴史といった学術面

を中心とするフォーラムを10月31日に東京九段のインド大使館講堂で開催します。それが、添付の案内チラシですが、このチラシの版下は私が作成したものです。9月初めから、版下作成、印刷発注から発送業務まで多忙な毎日を送りました。

案内発送先に香川県とともに何故か信州・長野県の人や寺院が多く含まれていますが、それはインドから帰国した香雪は善光寺雲上殿の壁画制作にかかわり、戦争中は山ノ内町に疎開し、昭和48年に88歳で他界するまで信州に住んだのです。

4月13日には香雪のことを紹介する記事が信濃毎日新聞文化面に掲載されました（「長野や山ノ内で後半生を過ごした日本画家・野生司香雪」）。

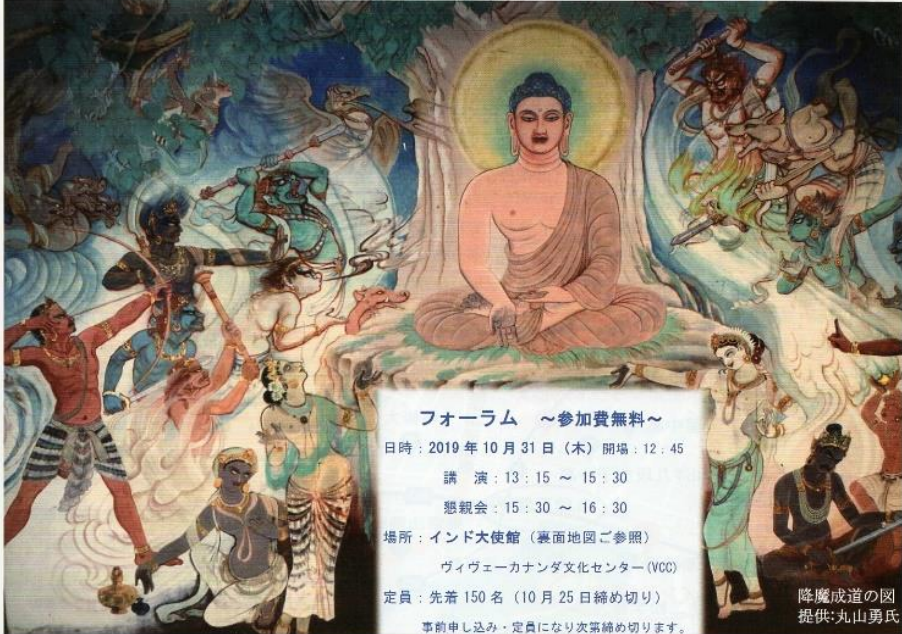
インド関連で溝渕先生にお会いし、香雪が信州・長野県に深く関係している人であると知り、さらに昭和24年にインドの壁画の下絵が永平寺に保管されていることを見出した南澤道人永平寺副貫主（現在）は、実は信州の人だそうです。

これから進められる壁画の補修計画に何か深い因縁を感じる所以であります。

（2019年10月9日記）

の - す こうせつ  
**野生司香雪とサールナートの仏伝壁画**

ご存知ですか？インドに日本人画家が描いたお釈迦様の壁画があることを



**フォーラム ～参加費無料～**

日時：2019年10月31日（木）開場：12:45  
講演：13:15～15:30  
懇親会：15:30～16:30

場所：インド大使館（裏面地図ご参照）  
ヴィヴェーカナンダ文化センター（VCC）

定員：先着150名（10月25日締め切り）  
事前申し込み・定員になり次第締め切ります。

降魔成道の図  
提供：丸山勇氏

13:15	開演
13:20	ご挨拶：サンジェイ・クマール・ヴァルマ駐日インド大使閣下
13:25	ご挨拶：前田専學 東京大学名誉教授・中村元東方研究所 理事長
13:30	講演1：「タゴール・天心から香雪までの日印芸術家交流」- 大木礼子 さくら市ミュージアム・荒井寛方記念館学芸員
13:50	講演2：「野生司香雪の生涯と仏伝壁画」- 溝渕茂樹 元徳島文理大学 非常勤講師
14:10	講演3：「初転法輪の地サールナートと香雪の仏伝壁画がインドで果たす役割」- シンダールト・シン博士 インド大使館ヴィヴェーカナンダ文化センター所長（元パナラス・ヒンドゥー大学教養学部パーリ語・仏教学科学科長）
14:30	講演4：「インド・サールナートの仏伝壁画保全作業について」- 木島隆康 東京藝術大学 名誉教授
14:50	休憩（質問用紙）
15:00	質疑応答
15:20	閉会挨拶：生田要助 野生司香雪画伯顕彰会 会長 ※15:30～16:30 懇親会（軽食）@フォワイエ

主催：野生司香雪画伯顕彰会 共催：ディスカバーインディアクラブ（DIC） 後援：インド大使館、香川県、（公財）日印協会、（公財）中村元東方研究所、（公財）仏教伝道協会、（学）淑徳学園、（学）武蔵野大学 協力：（株）トラベルサライ、（有）彩色設計 特別協力：（公財）文化財保護・芸術研究助成財

参加申込方法：裏面の申込書の記載事項をメールまたはFAXでお知らせください。

裏面をご覧ください。